

社会・環境ソリューション事業

2024年6月12日

NECネットエスアイ株式会社

(銘柄略称:NESIC 証券コード:1973)

執行役員常務

兼 社会・環境ソリューション事業本部長

西田 雄一

自己紹介



西田 雄一 (にしだ ゆういち)

執行役員常務
兼 社会・環境ソリューション事業本部長

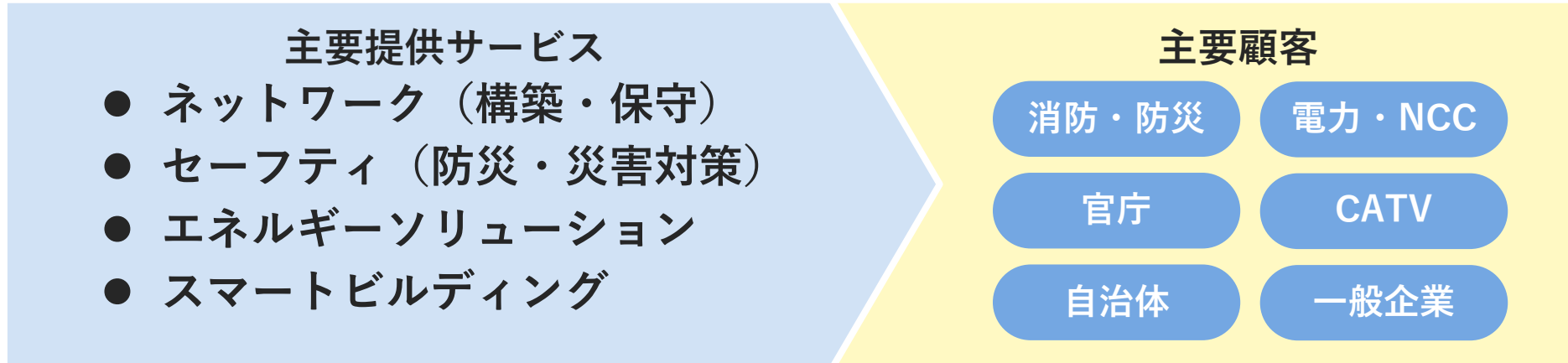
略 歴

- 1986年 当社入社
社会インフラ事業のSE・SI/施工領域を中心に従事
- 2016年 社会インフラ事業本部西日本システム事業部長
- 2020年 執行役員
- 2024年から、現職

社会・環境ソリューション事業の概要



社会公共インフラの設計SIからサポートまで国内外で事業展開



事業の強み・特色

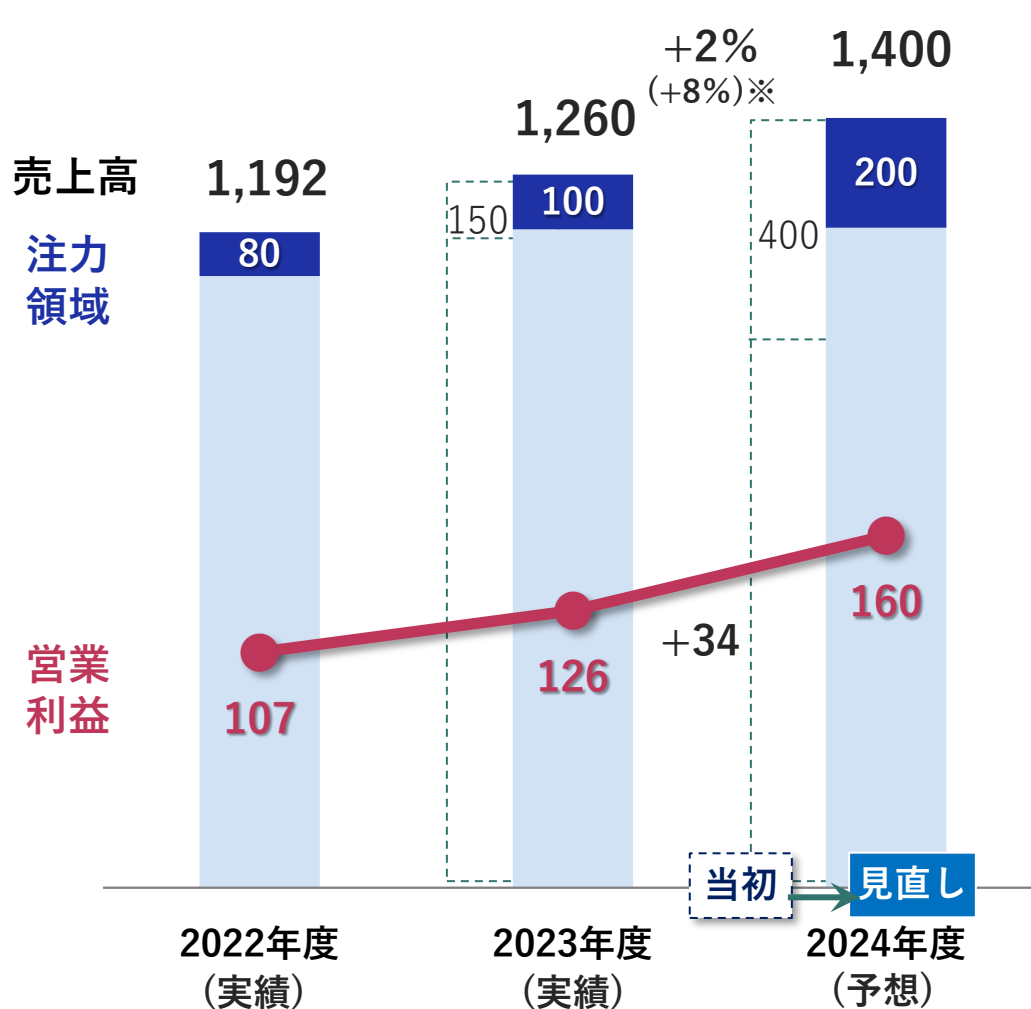
- 顧客基盤（約4,000社）
- 全国の施工、サポートサービス体制
- 業務ノウハウと全社アセットと連携したソリューション提案力

業績進捗

※予想値は2024年4月26日現在のものです

(単位：億円)

※()前期大型機器調達案件(約75億円)を除いた伸び率



前期までの成果と反省

- ✓ DX/新領域(まちづくり/グリーン)は拡大に向けた準備に遅れ
- ✓ 既存領域は、道路など施工/保守の高度化の取組みが着実に進捗



新年度(2024年度)

- ✓ 売上MIXの改善による収益力の強化
 - ・ 強みのある領域へフォーカス
 - ・ 既存領域の高度化/高付加価値化

2024年度の事業遂行方針

収益力の強化

- ・ 強みのある領域へフォーカス
- ・ 既存領域の高度化/高付加価値化

▶ 次期以降の成長につなげる

事業基盤の 高度化

- ▷ 施工 + SI領域、顧客密着型サービス拡大による高付加価値化
- ▷ 消防更新需要の取り込み

グリーン社会 への対応

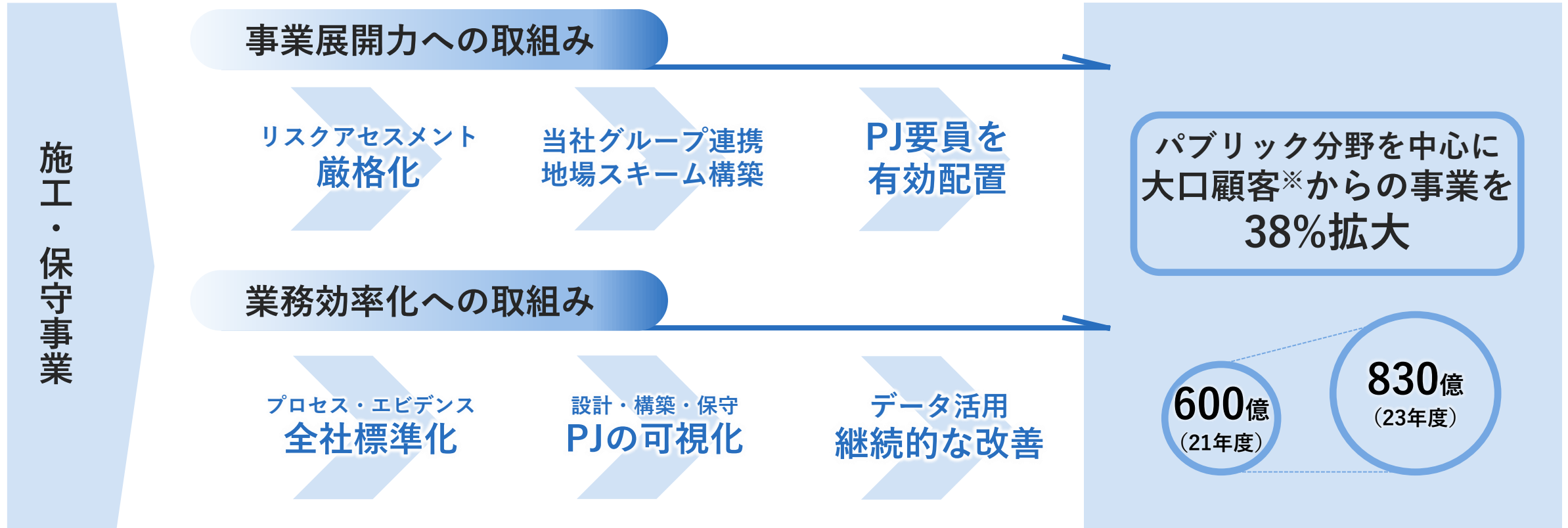
- ▷ 脱炭素の自社実践ノウハウを進化させ事業提供力を向上
- ▷ EPC事業に加えサービス事業の取り組み拡大で収益基盤を強化

まちづくり 推進

- ▷ 公共インフラを支える現場の働き方改革にフォーカス
～現場改革から利用者の利便性向上などのまちづくり推進に向けた足場づくり～

事業基盤の強化

- ✓ 既存領域の着実な事業遂行で大口顧客からの事業が拡大

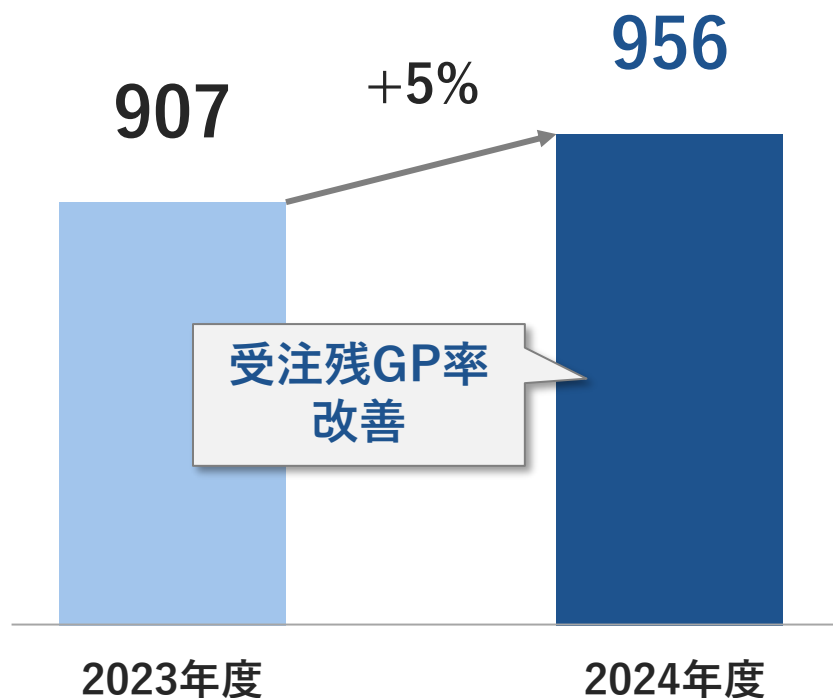


※大口顧客の定義：
3年間連続取引実績があり、3年平均の売上高が一定額以上
(単独受注高)

基盤高度化による既存領域の成長

- ✓ 更なる高度化と高付加価値化を進め収益性を向上

期首受注残(連結)



施工事業

- ✓ 従来施工に加え“SI領域”を拡大し収益向上
- ✓ マルチベンダー対応の強みを活かして最適なソリューションを提供

保守事業

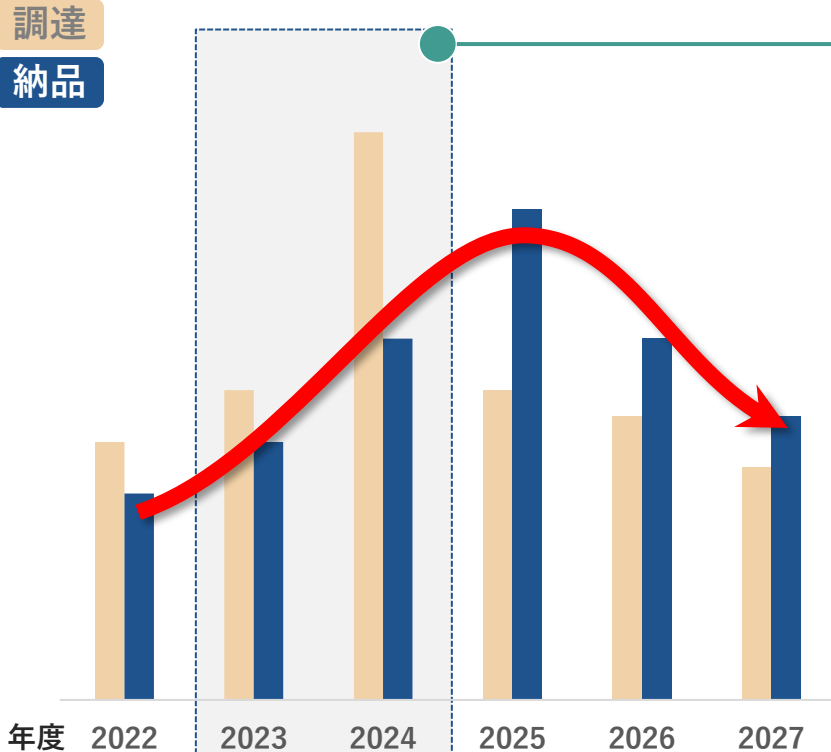
- ✓ 当社グループ一体でのサービス展開を強化
- ✓ 顧客密着型のLCMサービス強化で、リカーリングビジネスを拡大

参考：消防プロジェクトについて

消防指令センター広域化＋消防救急無線(2015年頃デジタル化の)更新による需要期。
市場のピーク(納品)は2025年度の見通し。今期は前期比1.5倍～2倍の受注を目指す。

消防プロジェクト関連の市場規模

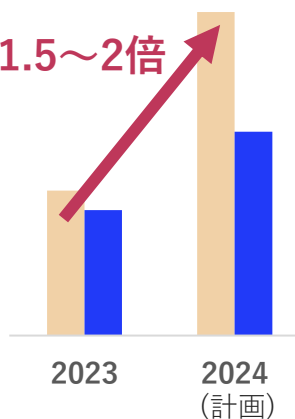
調達
納品



当社：今期計画

受注
売上

1.5～2倍



当社の強み

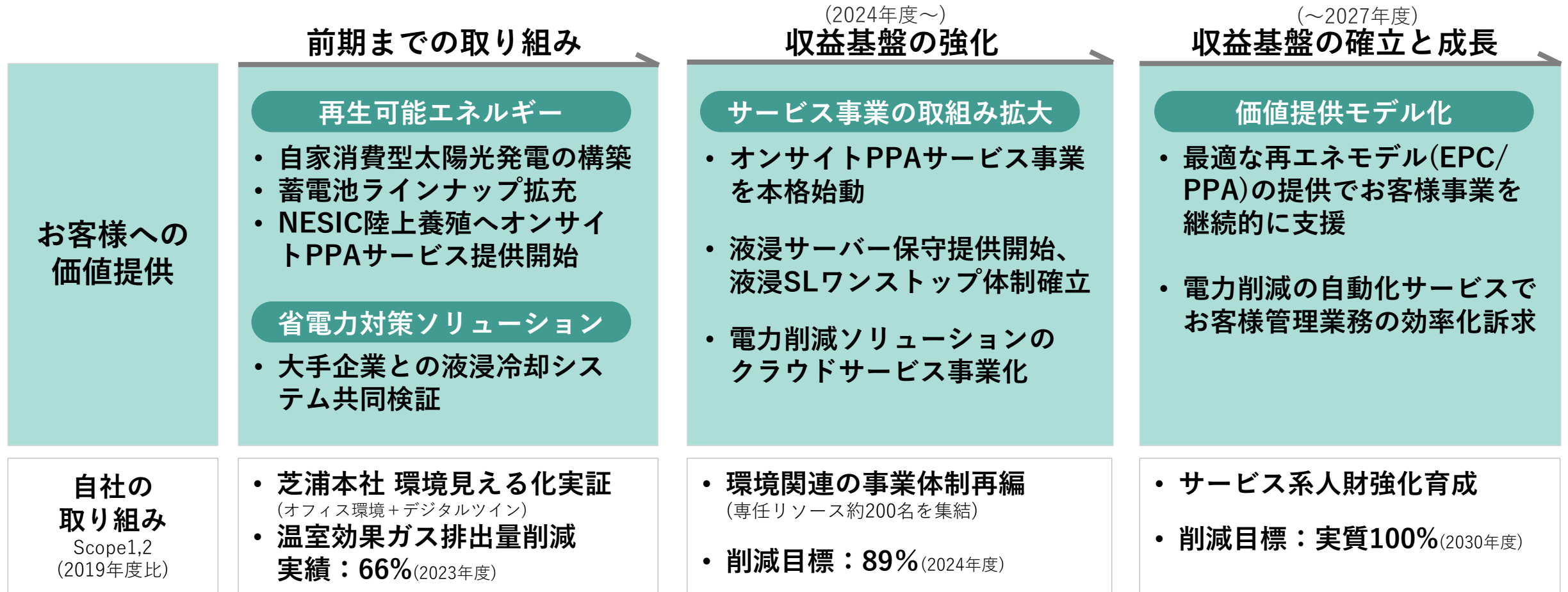
- NECグループとしての製品力
- それに精通した当社SI力
- 実績・経験に基づく顧客との信頼関係

取組み

- 拡大する市場への対応
 - ・ 事業体制の強化
 - ・ リソースの適正配置・育成
 - ・ 事業パートナーの確保・開拓
- 市場ピークアウトへの対応
 - ・ 従来サービス＋αでストックビジネス拡大
 - ・ 消防データ分析によるDXソリューション
 - ・ 職員の働き方改革・現場活動のDX化

グリーン社会への対応強化

- ✓ 脱炭素の自社実践ノウハウを進化させ事業提供力を強化
- ✓ EPC事業に加えサービス事業の取り組み拡大で収益基盤を強化



参考：省電力対策ソリューション共同検証事例

- ✓ コンテナ型液浸の実証実験を通じて市場に先行しノウハウを蓄積
- ✓ データーセンター業界への導入展開を狙う

大手企業との主な共同検証

- ・ コネクテッドカー向けエッジコンピューティング
(通信事業者様、自動車メーカー様)
- ・ 空冷方式、液浸方式での電力利用料削減検証
(電力会社様)



多くのお客様から実機見学のご要望を頂戴
実導入に向けたビジネス協業へ対応中

液浸ソリューションのワンストップサービス

POINT 01

液浸冷却システム構築

- ・ ファシリティ／IT設備の両面をカバー
- ・ 用途に合わせた最適設備の設計と構築

POINT 02

運用監視

- ・ ファシリティ設備の監視制御
- ・ 液浸サーバー／NW機器の統合監視

POINT 03

保守サービス

- ・ ファシリティ設備の保守
- ・ 液浸サーバー／NW機器の保守

まちづくり事業推進

- ✓ 既存領域にDXを付加し“安心安全なまちづくり”に貢献
- ✓ 公共インフラを支える現場の働き方改革にフォーカス

前期までの取り組み

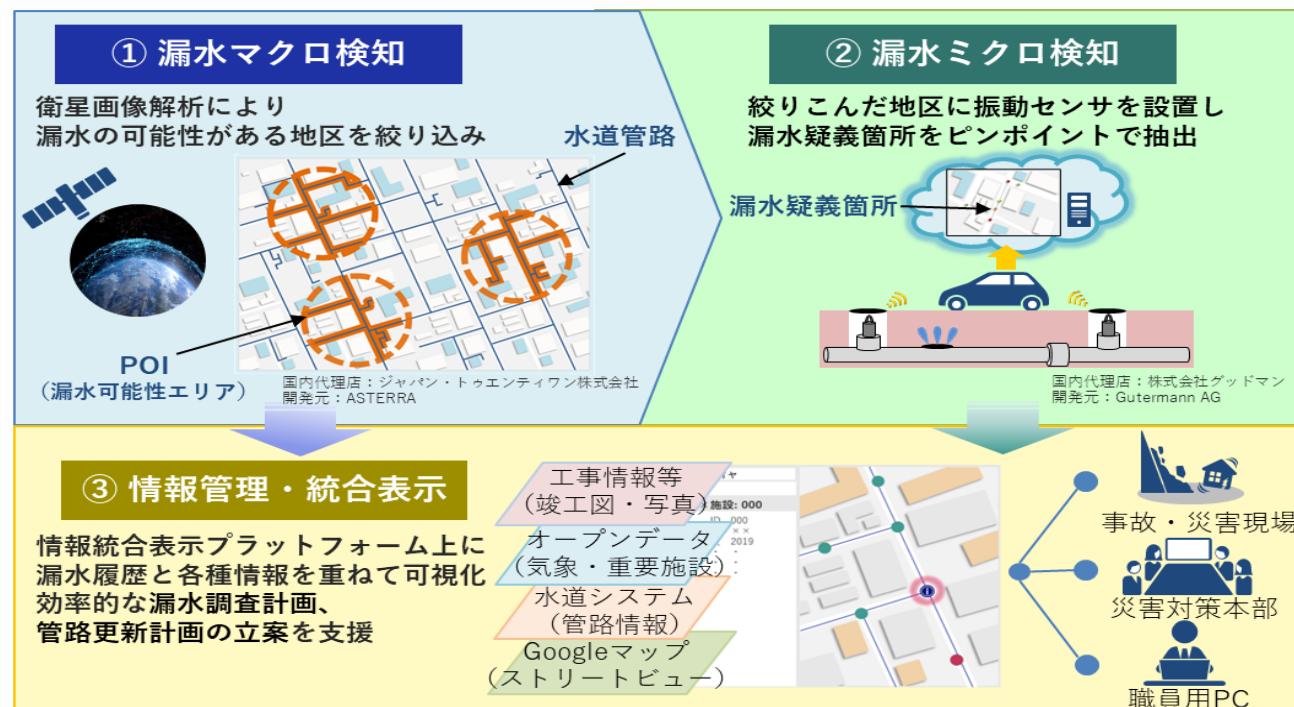
お客様と現場を理解した
DXソリューションの構築

《強み》

- ・ 豊富な現場プロジェクト遂行
- ・ 自治体とのコネクション
(地域特性の共有と理解力)

【事例】既存のインフラにデジタル技術を付加

- ・ 人的作業負担が高い水インフラ維持業務を省力化（漏水検知）



「DX×次世代ネットワーク」の展開を加速

「DX×次世代ネットワーク」×「パブリック分野の業種ノウハウ&社会実装力」
のシナジー(差別化)で全社事業を牽引

例：重要施設への高度かつ高精細な監視サービス（映像AI×高速通信×施工）



全社
事業基盤



(日本全国のサポート・サービス基盤)

NEC

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ